

# 協会の構成員

国立大学協会は、全国86国立大学と4研究機構により構成されています。

# 知の列島

## ●正会員（86国立大学）

### 北海道支部（7大学）

北海道、北海道教育、室蘭工業、小樽商科、帯広畜産、旭川医科、北見工業

### 東北支部（7大学）

弘前、岩手、東北、宮城教育、秋田、山形、福島

### 東京支部（12大学）

東京、東京医科歯科、東京外国語、東京学芸、東京農工、東京藝術、東京工業、東京海洋、お茶の水女子、電気通信、一橋、政策研究大学院

### 関東・甲信越支部（14大学）

茨城、筑波、筑波技術、宇都宮、群馬、埼玉、千葉、横浜国立、総合研究大学院、新潟、長岡技術科学、上越教育、山梨、信州

### 東海・北陸支部（12大学）

富山、金沢、北陸先端科学技術大学院、福井、岐阜、静岡、浜松医科、名古屋、愛知教育、名古屋工業、豊橋技術科学、三重

### 中国・四国支部（10大学）

鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、鳴門教育、香川、愛媛、高知

### 近畿支部（13大学）

滋賀、滋賀医科、京都、京都教育、京都工芸繊維、大阪、大阪教育、兵庫教育、神戸、奈良教育、奈良女子、奈良先端科学技術大学院、和歌山

### 九州支部（11大学）

福岡教育、九州、九州工業、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、鹿屋体育、琉球

## ●特別会員（4研究機構）

人間文化研究機構、自然科学研究機構、高エネルギー加速器研究機構、情報・システム研究機構

# 交通のご案内



- 電車**
    - ◎東京メトロ半蔵門線/都営地下鉄三田線/都営地下鉄新宿線  
「神保町駅」下車 (A8出口から徒歩3分)
    - ◎東京メトロ東西線  
「竹橋駅」下車 (1B出口から徒歩4分)
  - 車**
    - ◎首都高速道路  
代官町  
神田橋  
一ツ橋 (5号線のみ)
- インターチェンジをご利用下さい。



一般社団法人  
国立大学協会  
<https://www.janu.jp/>

一般社団法人  
**国立大学協会**  
The Japan Association of National Universities

# 2019



一般社団法人  
**国立大学協会**  
The Japan Association of National Universities

# 会長あいさつ

グローバル化が進む世界は大きな転換点に直面しています。我が国においても、デジタルサイエンスの急速な発展を基軸にSociety5.0の実現と同時に、人口減少に伴う課題の解決、人生100年時代の到来への対応、地方を基盤とした社会の実現などが求められています。グローバル化自体も競争から競争と協働のステージへと移行してきています。これらの実現の前には、これまでの経験だけでは解決することが困難な課題がいくつも存在します。



一般社団法人 国立大学協会  
会長 永田 恭介 (筑波大学長)

国立大学はそれぞれが個性を持つ86大学から成り立っています。約6万人の教員は、59万人超の学生・大学院生の教育にあたるとともに、一人ひとりが多種多様な研究を展開しています。こうした多様性は、過去の単純な延長線上に将来を描くことができない社会において、あらゆる変化や可能性に柔軟に対応し得る力の源泉でもあります。

全ての都道府県に置かれている国立大学は、イノベーションの創出や優れた人材の育成を通じて各地方(地域)の活性化の中核を担ってきました。国立大学は、各地方(地域)の文化・社会・経済を支える拠点であり、地方(地域)の産業、医療、福祉、教育などに責務を負っていることを自覚しています。人口減少や産業の知識集約型へのパラダイムシフトを背景に地方創生が我が国の重要な課題となる中、近年いっそう高まる国立大学に対する期待に応えるべきだと考えています。

大学で学んだ学生が、VUCA (Volatility, Uncertainty, Complexity, Ambiguity) の時代の中で、自ら未来に向けて真に人がかかわらなければならない仕事、あるいはかかわるべき仕事を見出すとともに、その仕事において新たな価値の創造につながる活動ができるように育てていかなければなりません。それを実現する大学の教育が高度な研究を基盤として行われるものであるとの原則に立てば、研究力の向上は不可欠です。国立大学には高い水準の研究を推進し、大学院の充実を基盤とした高度な教育研究を国際的な競争力をもって展開することが期待されています。

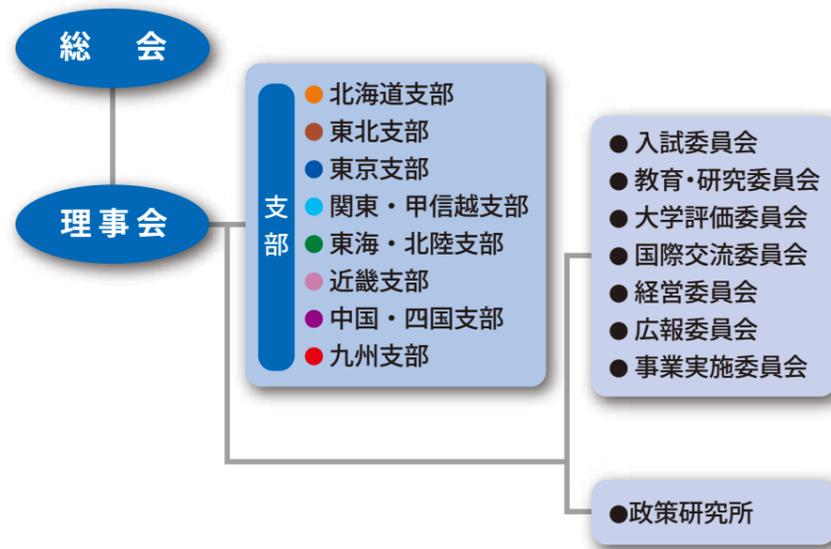
さらに、従前にも増してこれまでに見出されていなかった新たな才能を見出す努力が必要であり、同時に外国人、社会人の受け入れを進め、社会の発展を牽引する高度な人材を確実に輩出しなければなりません。そのためには、これら多様な人材が最適な教育を受けられるよう、教育システムの改革とコンテンツの充実が必要です。

このような国立大学が重要と考える役割を果たすためには、個々の国立大学が自らの特長を生かして展開すべき取組と、国立大学が総体として挑戦すべき取組があります。国立86大学が一体となり、地方(地域)を支え、我が国を支え、世界と伍していく集団としての役割を果たすことこそが重要であり、それを支えることが国立大学協会の使命です。

関係各位には引き続きご支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。

2019年6月

# 組織図



# 役員等名簿

2019年6月11日現在  
(◎は委員長等)

会長(理事)	永田 恭介	【筑波大学長】	
副会長(理事)	西尾 章治郎	【大阪大学長】	
	大野 英男	【東北大学長】	
	山崎 光悦	【金沢大学長】	
	林 佳世子	【東京外国語大学長】	
専務理事	山本 健慈	【和歌山大学顧問・名誉教授】	◎大学評価委員会
常務理事	戸渡 速志	【国立大学協会事務局長】	◎教育・研究委員会 / ◎政策研究所運営委員会
理事	和田 健夫	【小樽商科大学長】	◎国際交流委員会
	奥田 潔	【帯広畜産大学長】	◎広報委員会 / 入試委員会
	佐藤 敬	【弘前大学長】	広報委員会 / ◎政策研究所
	益 一哉	【東京工業大学長】	広報委員会
	室伏 きみ子	【お茶の水女子大学長】	入試委員会
	山口 宏樹	【埼玉大学長】	広報委員会
	徳久 剛史	【千葉大学長】	大学評価委員会
	濱田 州博	【信州大学長】	事業実施委員会
	松尾 清一	【名古屋大学長】	◎事業実施委員会
	山極 壽一	【京都大学長】	国際交流委員会
	位田 隆一	【滋賀大学長】	国際交流委員会
	服部 泰直	【島根大学長】	大学評価委員会
	越智 光夫	【広島大学長】	経営委員会
	岡 正朗	【山口大学長】	◎入試委員会
	寛 善行	【香川大学長】	教育・研究委員会
	久保 千春	【九州大学長】	◎経営委員会
	河野 茂	【長崎大学長】	入試委員会
監事	大野 弘幸	【東京農工大学長】	経営委員会
	蓼沼 宏一	【一橋大学長】	大学評価委員会
顧問	五神 真	【東京大学長】	
	山極 壽一	【京都大学長】	
会長補佐	長谷川真理子	【総合研究大学院大学長】	
	後藤 ひとみ	【愛知教育大学長】	
	駒田 美弘	【三重大学長】	
	森迫 清貴	【京都工芸繊維大学長】	
	尾家 祐二	【九州工業大学長】	
	藤井 良一	【情報・システム研究機構長】	

# 事業内容

## ●国大協の目的(定款第4条)

各国立大学法人が実施する教育・研究及び社会貢献に関する多種・多様な活動において、質の高い成果を挙げるための環境作りを行い、もって国立大学法人の振興と我が国の高等教育・学術研究の水準の向上及び均衡ある発展に寄与する。

## ●国大協の事業(定款第5条)

- (1) 国立大学が質の高い教育、学術研究及び社会貢献を推進するために必要な事業
- (2) 自主的政策立案、国の高等教育政策や学術研究政策等に関する政策提言のための調査研究
- (3) 国際パートナーシップを基本とした国際交流事業
- (4) 国立大学法人の経営に関する支援
- (5) その他目的を達成するために必要な事業

# 主な活動(平成30年度)

## ◎総会・理事会

- ・通常総会(6月、11月、1月、3月)
- ・理事会(4月、5月、7月、10月、12月、2月)



第2回通常総会を開催  
(於：金沢市)

## ◎要望・提言活動等

- ・「大学入学共通テストの枠組みにおける英語認定試験及び記述式問題(国語)の活用に向けた参考例等について」の公表(6月)
- ・「これからの時代における本格的な産学官連携共同研究を推進する視点及び環境整備(中間まとめ)」の公表(6月)
- ・「国立大学の機能強化を促進させる組織・ガバナンスとそれに資する法・制度改正等の在り方(論点整理)」の公表(6月)
- ・「平成31年度予算における国立大学関係予算の充実及び税制改正について(要望)」による要望活動(8月、9月)
- ・「国立大学法人制度の本旨に則った運営費交付金の措置を!(声明)」の公表(11月)
- ・「国立大学の教育研究活性化を促進する人事給与マネジメント改革に関する基本的な考え方について」の公表(11月)
- ・「平成31年度国立大学関係予算及び税制改正等について【会長コメント】」の公表(1月)
- ・「国立大学の入学者選抜に係る試験問題及び解答例等の公表の取扱いに関する方針」の公表(1月)



柴山文部科学大臣との意見交換



2018日英ラウンドテーブルを開催

## ◎国際活動等

- ・2018日豪イノベーション&リサーチシンポジウム・日豪大学職員短期交流研修事業を開催(10月)、2018日英ラウンドテーブルを開催(10月)、2018日仏高等教育シンポジウムを開催(12月)



広報誌「国立大学」を刊行

## ◎セミナー・研修等

- ・担当理事連絡会議(6月、10月)、新任学長セミナー(6月)、国立大学法人総合損害保険研修会(7月)、部課長級研修(7月)、トップセミナー(8月)、ユニバーシティ・デザイン・ワークショップ(8月)、大学改革シンポジウム(10月)、大学マネジメントセミナー(11月)、若手職員勉強会(12月)、広報担当者連絡会「広報勉強会」(1月)、新任学長(就任予定者)セミナー(3月)

## ◎刊行物等・広報活動

- ・広報誌「国立大学」(6月、9月、12月、3月)
- ・広報誌「国立大学」別冊(7月)
- ・論説委員等との懇談会(10月)